

ダイワ世界債券ファンド (毎月分配型／年2回決算型) (愛称：ワールドプライム)

<4712> <4787>

(毎月分配型)追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：世界債券

(年2回決算型)追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：世界債券2

(毎月分配型)

第219期 2024年3月21日決算 第222期 2024年6月20日決算

第220期 2024年4月22日決算 第223期 2024年7月22日決算

第221期 2024年5月20日決算 第224期 2024年8月20日決算

(年2回決算型)

第32期 2024年8月20日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、外貨建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

(毎月分配型)

第224期末	基準価額	7,307円
	純資産総額	17,742百万円
第219期～第224期	騰落率	1.8%
	分配金合計	30円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(年2回決算型)

第32期末	基準価額	15,816円
	純資産総額	34百万円
第32期	騰落率	1.8%
	分配金	10円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

◇SKU0478720240820◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

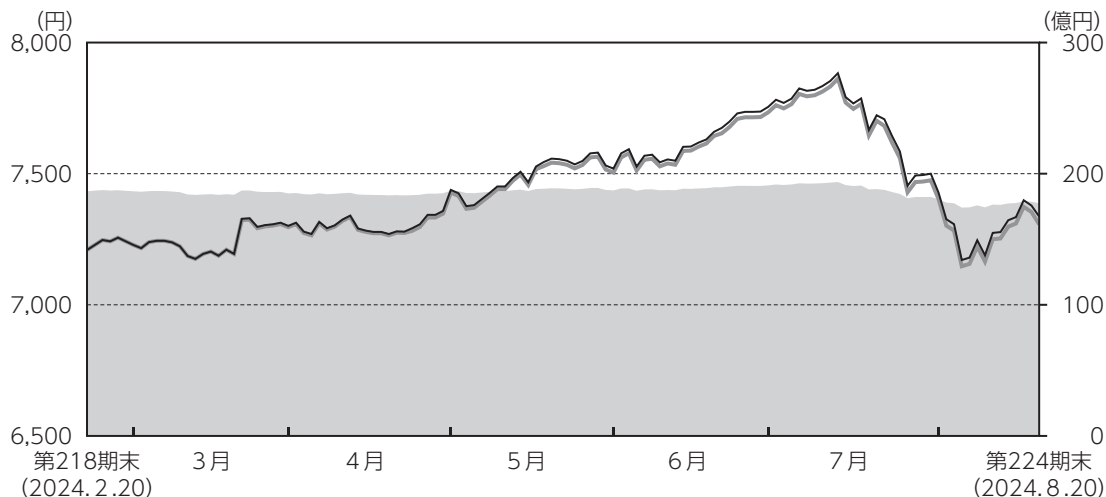
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択

毎月分配型



運用経過

基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第219期首：7,209円

第224期末：7,307円（既払分配金30円）

騰落率：1.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米ドルやカナダ・ドルが対円で下落（円高）

したことはマイナス要因となりましたが、金利

が低下（債券価格は上昇）したことや、投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	2.4%	27.8%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	3.8%	16.7%
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	1.3%	16.6%
ダイワ高格付英債券マザーファンド	3.8%	16.5%
ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	1.4%	16.4%
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	2.1%	5.6%

1万口当りの費用の明細

項 目	第219期～第224期 (2024.2.21～2024.8.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0.683%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,431円です。
（投 信 会 社）	(20)	(0.273)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(28)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	52	0.699	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

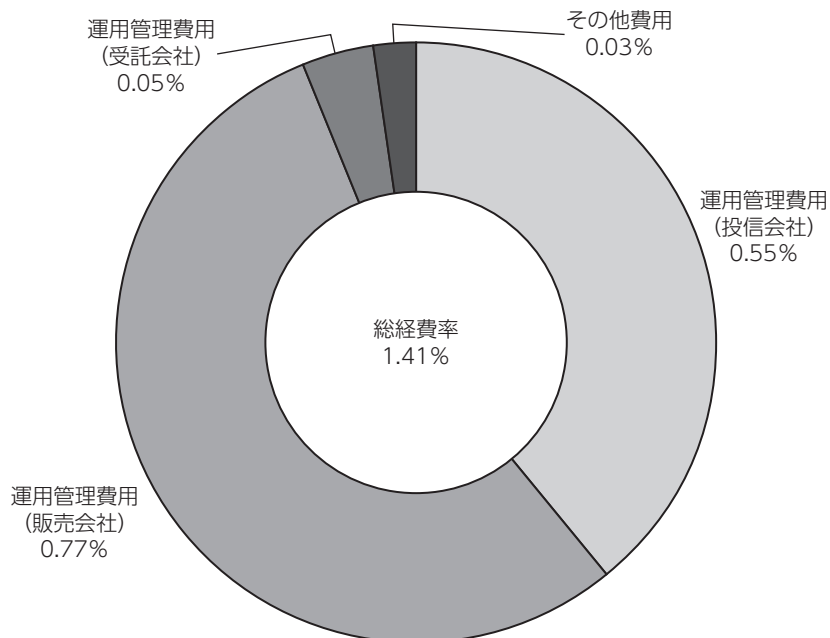
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.41%です。

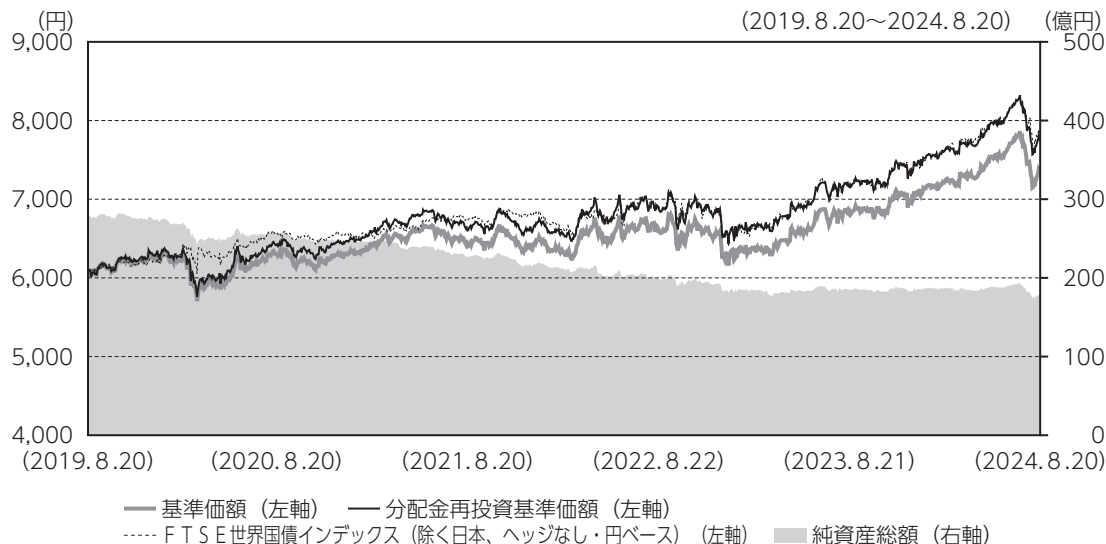


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年8月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数はFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年8月20日 期初	2020年8月20日 決算日	2021年8月20日 決算日	2022年8月22日 決算日	2023年8月21日 決算日	2024年8月20日 決算日
基準価額 (円)	6,093	6,301	6,398	6,625	6,809	7,307
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	75	60	60	60
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.5	2.7	4.5	3.7	8.2
FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	7.6	2.7	2.8	3.4	8.7
純資産総額 (百万円)	27,903	25,667	22,615	19,934	18,446	17,742

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）騰落率は、同指数の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2024.2.21~2024.8.20)

海外債券市況

海外債券市場では、米国を中心に金利は低下しました。

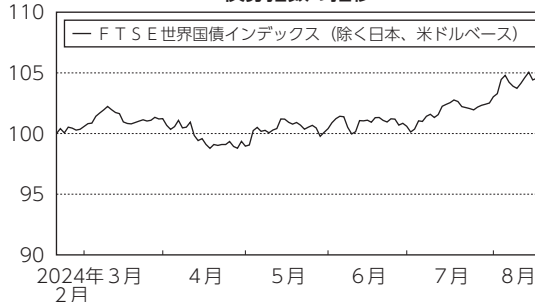
当作成期首より2024年5月末にかけては、底堅い米国経済を背景に利下げ織り込みがはく落し、一部の国を除き、米国を中心に金利はおおむね上昇（債券価格は下落）しました。6月から当作成期末にかけては、米国のインフレ関連指標に落ち着きが見られたことや雇用関連指標の悪化により、グローバルで金利は大きく低下しました。

為替相場

為替相場では、投資対象通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

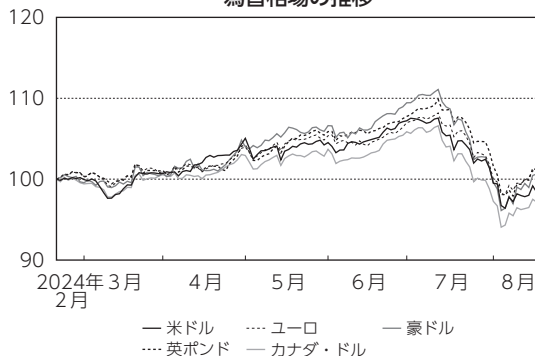
当作成期首から2024年7月中旬にかけては、3月に日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続いたことで、投資対象通貨は対円で上昇（円安）しました。その後、7月下旬に日銀が利上げを行ったことや、米国を中心とした金利低下による内外金利差の縮小が意識されたことにより、当作成期末にかけて、投資対象通貨は対円で大きく下落しました。投資対象通貨の中でも、米ドル、カナダ・ドルは対円の下落が相対的に大きく、当作成期を通してみると、対円で下落しました。一方で、英ポンド、チェコ・コルナなどは、当作成期を通してみると、対円で小幅に上昇しました。

債券指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。また、米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ユーロ等、英ポンドおよび北欧・東欧通貨の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざします。各通貨圏の公社債への投資は、投資対象マザーファンドの受益証券を通じて行います。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

今後も主として米ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度でコントロールします。クレジットリスクについては、高格付銘柄でポートフォリオを構成する投資スタンスで臨みたいと考えています。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド

英ポンド建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を

めざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲でコントロールします。クレジットリスク面では、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

ヨーロッパの通貨建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンダメンタルズや金融政策見通し等を勘案しつつ、3（年）程度から7（年）程度の範囲で対応する方針です。また、債券種別構成に関しては、国債を中心とした運用を継続します。通貨の投資比率については、ユーロ等を40％程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60％程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させる方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 2. 21～2024. 8. 20)

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。また、米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ユーロ等、英ポンドおよび北欧・東欧通貨の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざしました。

各通貨圏の公社債への投資にあたっては、「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド」、「ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド」、「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」の受益証券を通じて行いました。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

米ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債をポートフォリオの中心としました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

ユーロ建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債をポートフォリオの中心としました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド

英ポンド建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

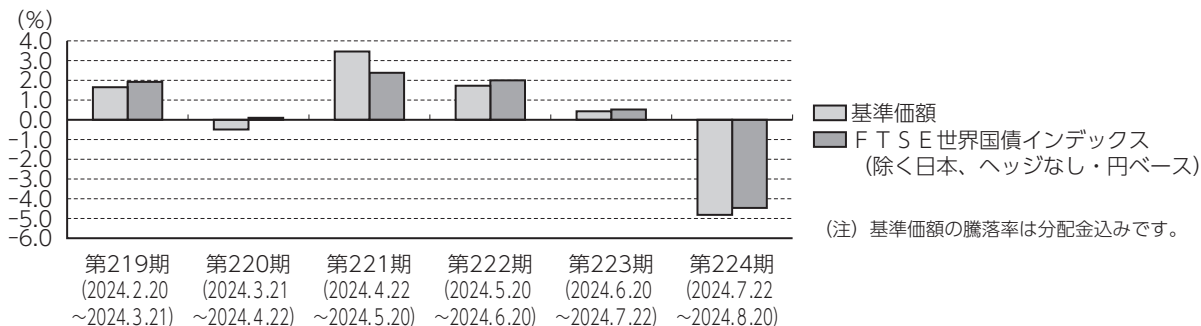
ヨーロッパの通貨建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から7（年）程度の範囲内で運用しました。また、債券種別構成に関しては、国債の組入比率を高めに保ちました。

通貨の投資比率については、ユーロ等を40%程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60%程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第219期	第220期	第221期	第222期	第223期	第224期
	2024年2月21日 ～2024年3月21日	2024年3月22日 ～2024年4月22日	2024年4月23日 ～2024年5月20日	2024年5月21日 ～2024年6月20日	2024年6月21日 ～2024年7月22日	2024年7月23日 ～2024年8月20日
当期分配金（税込み）（円）	5	5	5	5	5	5
対基準価額比率（%）	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
当期の収益（円）	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	234	238	248	260	270	273

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第219期	第220期	第221期	第222期	第223期	第224期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 14.96円	✓ 8.66円	✓ 15.34円	✓ 16.76円	✓ 14.86円	✓ 8.28円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	13.45	13.47	13.51	13.53	13.57	13.59
(d) 分配準備積立金	211.02	220.96	224.59	234.92	246.65	256.49
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	239.43	243.10	253.45	265.22	275.08	278.37
(f) 分配金	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	234.43	238.10	248.45	260.22	270.08	273.37

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。また、米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ユーロ等、英ポンドおよび北欧・東欧通貨の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざします。各通貨圏の公社債への投資は、投資対象マザーファンドの受益証券を通じて行います。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

今後も主として米ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度でコントロールします。クレジットリスクについては、高格付銘柄でポートフォリオを構成する投資スタンスで臨みたいと考えています。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド

英ポンド建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲でコントロールします。クレジットリスク面では、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

ヨーロッパの通貨建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンダメンタルズや金融政策見通し等を勘案しつつ、3（年）程度から7（年）程度の範囲で対応する方針です。また、債券種別構成に関しては、国債を中心とした運用を継続します。通貨の投資比率については、ユーロ等を40％程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60％程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させる方針です。

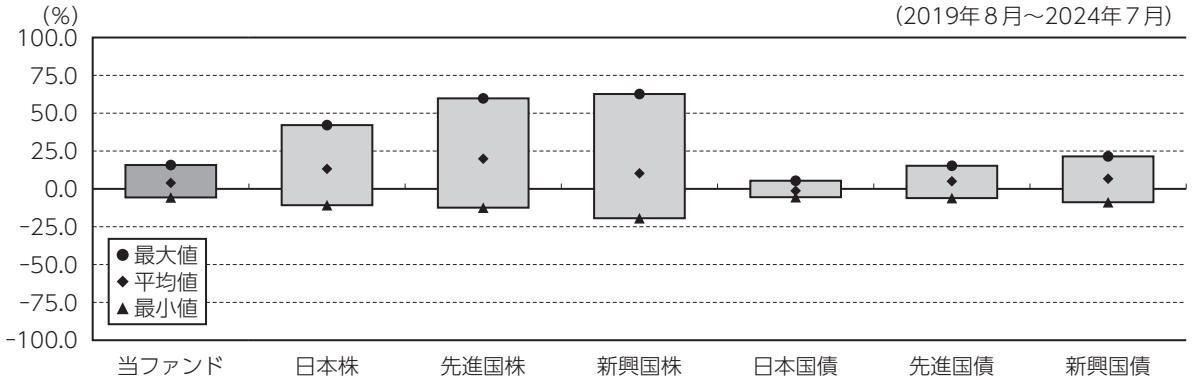


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2005年12月16日）	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記マザーファンドの受益証券
	ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	米ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	カナダ・ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	豪ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	ユーロ建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド	英ポンド建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	ヨーロッパの通貨建ての公社債等および短期金融商品
ベビーファンドの運用方法	<p>①通貨を分散し、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ユーロ等、英ポンドおよび北欧・東欧通貨*の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざします（ただし、北欧・東欧通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて、投資比率を見直します。）。</p> <p>* 北欧・東欧通貨とは、スウェーデン・クローネ、デンマーク・クローネ、ノルウェー・クローネ、チェコ・コルナ、ポーランド・ズロチ、ハンガリー・フォリント等とします。</p> <p>③各通貨の公社債への投資はマザーファンドの受益証券を通じて行ないます。</p> <p>④マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤外貨建資産（マザーファンドを通じて投資するものを含みます。）について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配をすることがあります。なお、分配対象額が少額の場合は分配を行なわない場合があります。</p>	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.8	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
平均値	3.9	13.2	19.9	10.3	△1.3	5.0	6.7
最小値	△5.7	△10.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



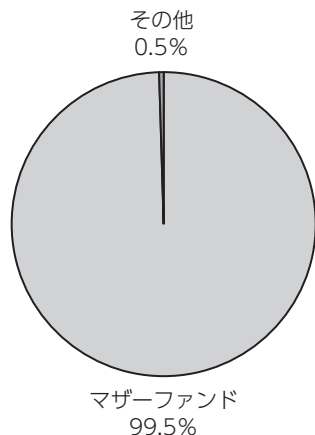
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

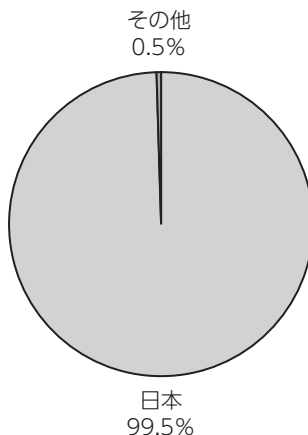
組入ファンド等

	比率
ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	27.8%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	16.7%
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	16.6%
ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド	16.5%
ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	16.4%
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	5.6%
その他	0.5%

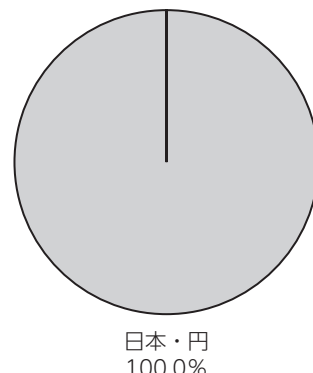
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年8月20日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	第219期末	第220期末	第221期末	第222期末	第223期末	第224期末
	2024年3月21日	2024年4月22日	2024年5月20日	2024年6月20日	2024年7月22日	2024年8月20日
純資産総額	18,719,770,439円	18,360,847,288円	18,851,287,348円	18,959,696,854円	18,765,786,958円	17,742,753,359円
受益権総口数	25,562,385,518口	25,212,744,008口	25,038,181,245口	24,772,448,516口	24,428,990,295口	24,283,205,878口
1万口当り基準価額	7,323円	7,282円	7,529円	7,654円	7,682円	7,307円

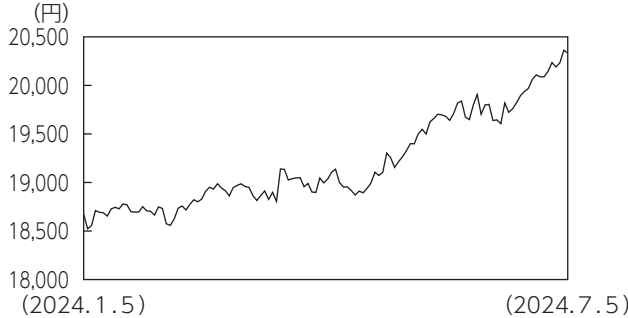
* 当作成期間 (第219期～第224期) 中における追加設定元本額は17,889,743円、同解約元本額は1,615,831,257円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド（作成対象期間 2024年1月6日～2024年7月5日）

■基準価額の推移



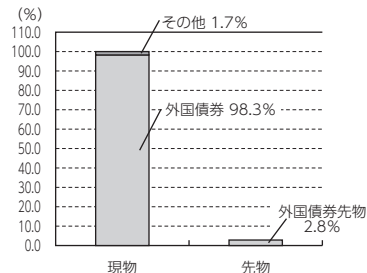
■1万口当りの費用の明細

項 目	
売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用)	4 (4)
(その他)	(0)
合 計	4

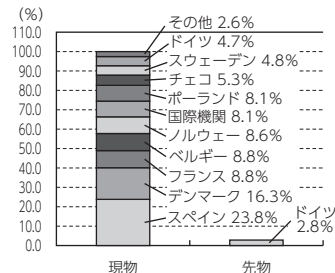
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
SPANISH GOVERNMENT BOND 1.45% 2027/10/31	ユーロ	12.8%
DANISH GOVERNMENT BOND 0.5% 2029/11/15	デンマーク・クローネ	11.3
SPANISH GOVERNMENT BOND 3.15% 2033/4/30	ユーロ	7.5
FRENCH GOVERNMENT BOND 1.0% 2027/5/25	ユーロ	5.3
Belgium Government Bond 0.1% 2030/6/22	ユーロ	4.6
Belgium Government Bond 0.8% 2028/6/22	ユーロ	4.2
EUROPEAN INVESTMENT BANK 1.75% 2026/11/12	スウェーデン・クローネ	4.2
KOMMUNALBANKEN 2.0% 2027/11/29	ノルウェー・クローネ	3.9
Poland Government Bond 3.25% 2025/7/25	ポーランド・ズロチ	3.6
NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 1.75% 2029/9/6	ノルウェー・クローネ	3.5
組入銘柄数	36銘柄 (先物含む)	

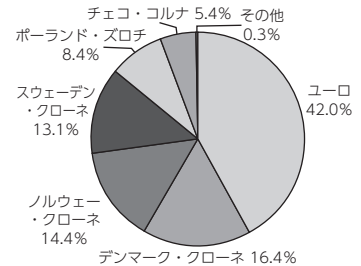
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のもです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

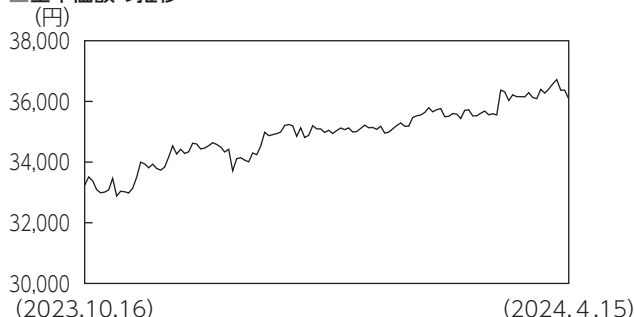
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド（作成対象期間 2023年10月17日～2024年4月15日）

■基準価額の推移



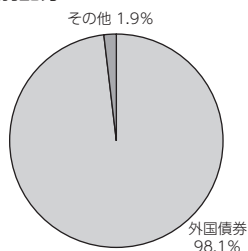
■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用 (保管費用) (その他)		4 (4) (0)
合	計	4

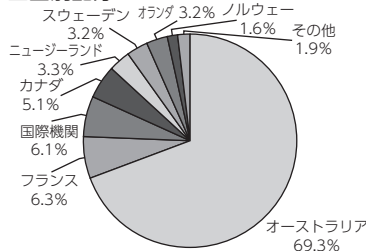
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. 3.0% 2030/2/20	オーストラリア・ドル	13.0%
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 2.75% 2029/11/21	オーストラリア・ドル	8.8
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 4.75% 2027/4/21	オーストラリア・ドル	7.7
TREASURY CORP VICTORIA 1.5% 2031/9/10	オーストラリア・ドル	6.0
South Australia GOV.FIN.AUTH. 3.0% 2028/5/24	オーストラリア・ドル	5.2
TREASURY CORP VICTORIA 3.0% 2028/10/20	オーストラリア・ドル	5.2
EUROPEAN INVESTMENT BANK 4.75% 2024/8/7	オーストラリア・ドル	4.7
CREDIT AGRICOLE SA 5.411% 2029/1/18	オーストラリア・ドル	3.4
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA 2.4% 2027/1/14	オーストラリア・ドル	3.4
COOPERATIEVE RABOBANK UA 5.708% 2028/11/21	オーストラリア・ドル	3.2
組入銘柄数		31銘柄

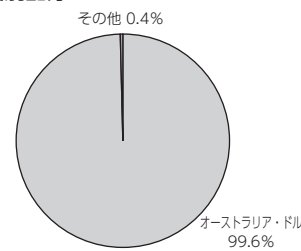
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

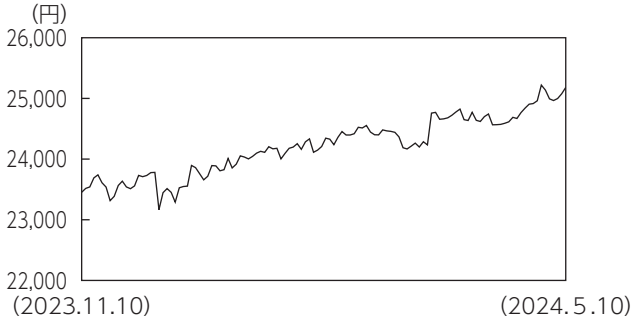
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド（作成対象期間 2023年11月11日～2024年5月10日）

■基準価額の推移



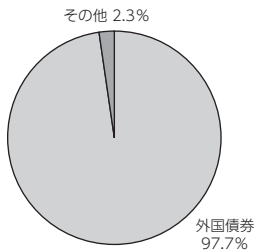
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合計	3

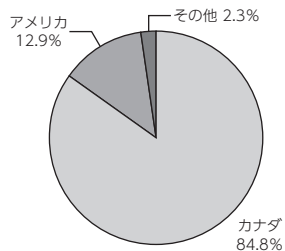
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
NEW YORK LIFE GLOBAL FUNDING 2.0% 2028/4/17	カナダ・ドル	7.5%
Canadian Imperial Bank of Commerce/Canad 3.3% 2025/5/26	カナダ・ドル	7.4
ONTARIO PROVINCE 3.75% 2032/6/2	カナダ・ドル	6.5
CANADIAN GOVERNMENT BOND 2.0% 2032/6/1	カナダ・ドル	6.1
TORONTO-DOMINION BANK/THE 4.516% 2027/1/29	カナダ・ドル	6.0
ONTARIO PROVINCE 2.9% 2028/6/2	カナダ・ドル	5.7
Province of Quebec Canada 1.9% 2030/9/1	カナダ・ドル	4.6
Province of Quebec Canada 2.5% 2026/9/1	カナダ・ドル	4.5
Bank of Montreal 2.7% 2024/9/11	カナダ・ドル	4.5
CANADA HOUSING TRUST 1.9% 2031/3/15	カナダ・ドル	4.4
組入銘柄数	30銘柄	

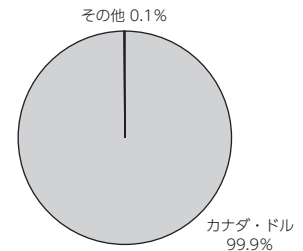
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

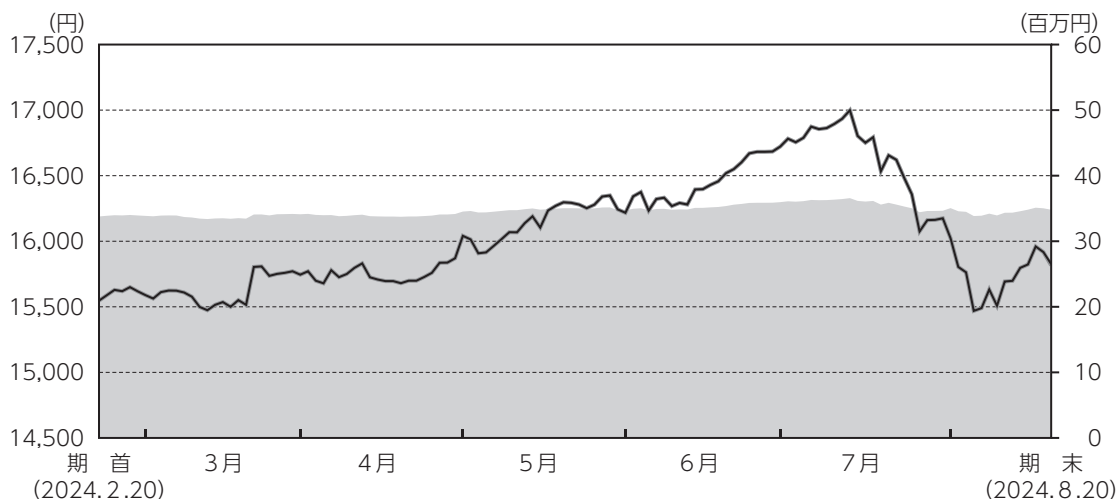
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

年2回決算型



運用経過

基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：15,547円

期末：15,816円(分配金10円)

騰落率：1.8%(分配金込み)

基準価額の主な変動要因

米ドルやカナダ・ドルが対円で下落(円高)

したことはマイナス要因となりましたが、金利

が低下(債券価格は上昇)したことや、投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	2.4%	27.6%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	3.8%	16.7%
ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド	3.8%	16.5%
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	1.3%	16.5%
ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	1.4%	16.4%
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	2.1%	5.6%

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.2.21~2024.8.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	110円	0.682%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,062円です。
（投 信 会 社）	(44)	(0.273)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(61)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(4)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.001)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	112	0.698	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

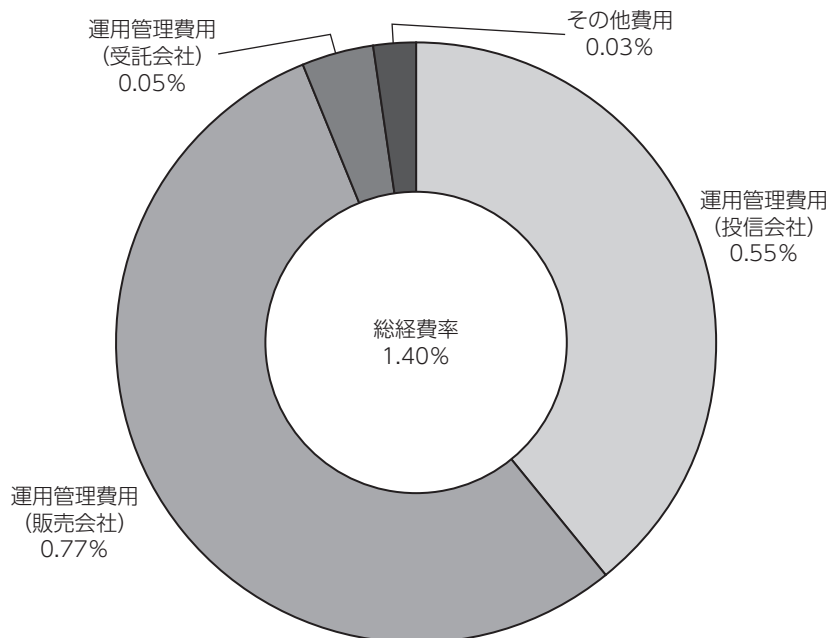
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。

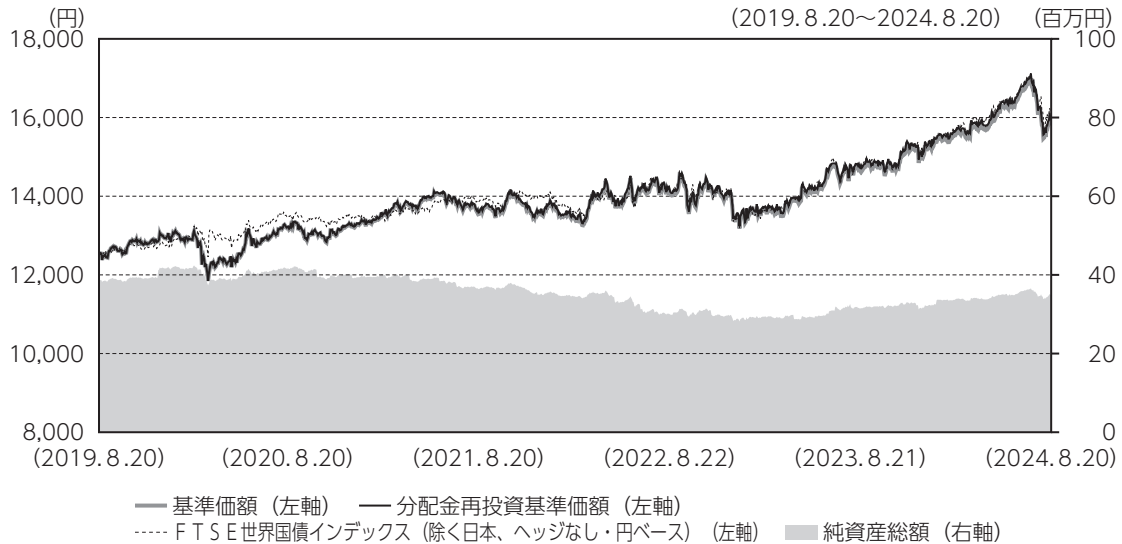


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年8月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数はFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年8月20日 期初	2020年8月20日 決算日	2021年8月20日 決算日	2022年8月22日 決算日	2023年8月21日 決算日	2024年8月20日 決算日
基準価額 (円)	12,540	13,202	13,543	14,133	14,633	15,816
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	20	20	20	20	20
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.4	2.7	4.5	3.7	8.2
FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	7.6	2.7	2.8	3.4	8.7
純資産総額 (百万円)	38	41	36	30	31	34

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）騰落率は、同指数の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2024.2.21~2024.8.20)

海外債券市況

海外債券市場では、米国を中心に金利は低下しました。

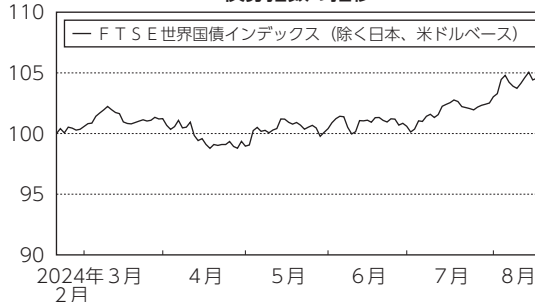
当作成期首より2024年5月末にかけては、底堅い米国経済を背景に利下げ織り込みがはく落し、一部の国を除き、米国を中心に金利はおおむね上昇（債券価格は下落）しました。6月から当作成期末にかけては、米国のインフレ関連指標に落ち着きが見られたことや雇用関連指標の悪化により、グローバルで金利は大きく低下しました。

為替相場

為替相場では、投資対象通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

当作成期首から2024年7月中旬にかけては、3月に日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続いたことで、投資対象通貨は対円で上昇（円安）しました。その後、7月下旬に日銀が利上げを行ったことや、米国を中心とした金利低下による内外金利差の縮小が意識されたことにより、当作成期末にかけて、投資対象通貨は対円で大きく下落しました。投資対象通貨の中でも、米ドル、カナダ・ドルは対円の下落が相対的に大きく、当作成期を通してみると、対円で下落しました。一方で、英ポンド、チェコ・コルナなどは、当作成期を通してみると、対円で小幅に上昇しました。

債券指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。また、米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ユーロ等、英ポンドおよび北欧・東欧通貨の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざします。各通貨圏の公社債への投資は、投資対象マザーファンドの受益証券を通じて行います。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

今後も主として米ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度でコントロールします。クレジットリスクについては、高格付銘柄でポートフォリオを構成する投資スタンスで臨みたいと考えています。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド

英ポンド建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を

めざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲でコントロールします。クレジットリスク面では、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

ヨーロッパの通貨建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンダメンタルズや金融政策見通し等を勘案しつつ、3（年）程度から7（年）程度の範囲で対応する方針です。また、債券種別構成に関しては、国債を中心とした運用を継続します。通貨の投資比率については、ユーロ等を40％程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60％程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させる方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 2. 21~2024. 8. 20)

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。また、米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ユーロ等、英ポンドおよび北欧・東欧通貨の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざしました。

各通貨圏の公社債への投資にあたっては、「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド」、「ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド」、「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」の受益証券を通じて行いました。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

米ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債をポートフォリオの中心としました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

■ **ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド**

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ **ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド**

ユーロ建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債をポートフォリオの中心としました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ **ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド**

英ポンド建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

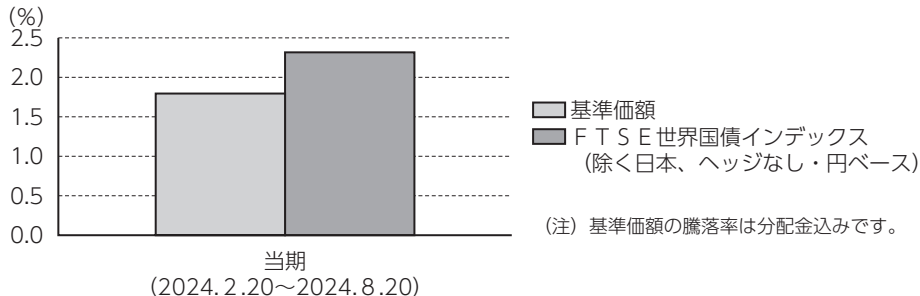
■ **ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド**

ヨーロッパの通貨建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から7（年）程度の範囲内で運用しました。また、債券種別構成に関しては、国債の組入比率を高めに保ちました。

通貨の投資比率については、ユーロ等を40%程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60%程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期	
	2024年2月21日 ～2024年8月20日	
当期分配金（税込み）	（円）	10
対基準価額比率	（%）	0.06
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	-
翌期繰越分配対象額	（円）	6,475

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計画上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	152.55円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		91.43
(c) 収益調整金		4,483.97
(d) 分配準備積立金		1,757.77
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		6,485.73
(f) 分配金		10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		6,475.73

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。また、米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ユーロ等、英ポンドおよび北欧・東欧通貨の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざします。各通貨圏の公社債への投資は、投資対象マザーファンドの受益証券を通じて行います。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

今後も主として米ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレー

ションを3（年）程度から5（年）程度でコントロールします。クレジットリスクについては、高格付銘柄でポートフォリオを構成する投資スタンスで臨みたいと考えています。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどにに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド

英ポンド建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどにに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲でコントロールします。クレジットリスク面では、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

ヨーロッパの通貨建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンダメンタルズや金融政策見通し等を勘案しつつ、3（年）程度から7（年）程度の範囲で対応する方針です。また、債券種別構成に関しては、国債を中心とした運用を継続します。通貨の投資比率については、ユーロ等を40％程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60％程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させる方針です。



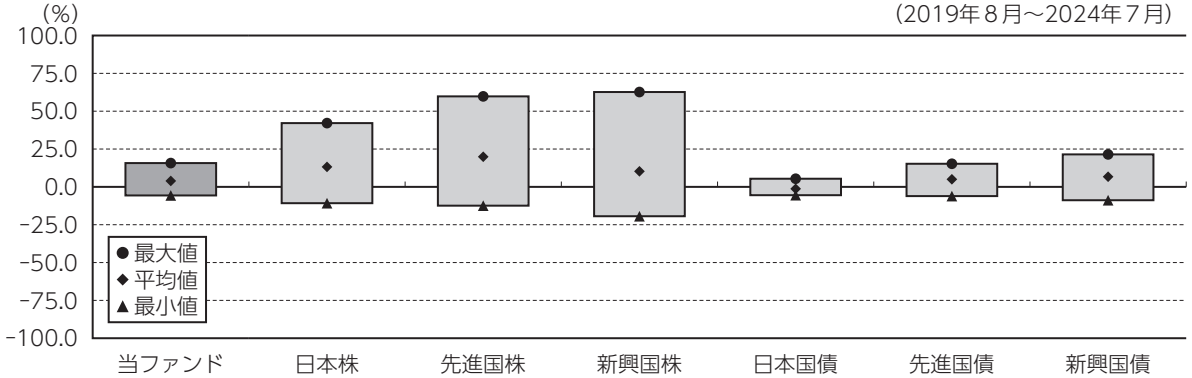
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2008年10月31日）	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記マザーファンドの受益証券
	ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	米ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	カナダ・ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	豪ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	ユーロ建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド	英ポンド建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	ヨーロッパの通貨建ての公社債等および短期金融商品
ベビーファンドの運用方法	<p>①通貨を分散し、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ユーロ等、英ポンドおよび北欧・東欧通貨*の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざします（ただし、北欧・東欧通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて、投資比率を見直します。）。</p> <p>* 北欧・東欧通貨とは、スウェーデン・クローネ、デンマーク・クローネ、ノルウェー・クローネ、チェコ・コルナ、ポーランド・ズロチ、ハンガリー・フォリント等とします。</p> <p>③各通貨の公社債への投資はマザーファンドの受益証券を通じて行ないます。</p> <p>④マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤外貨建資産（マザーファンドを通じて投資するものを含みます。）について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年8月～2024年7月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.7	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
平均値	3.9	13.2	19.9	10.3	△1.3	5.0	6.7
最小値	△5.7	△10.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



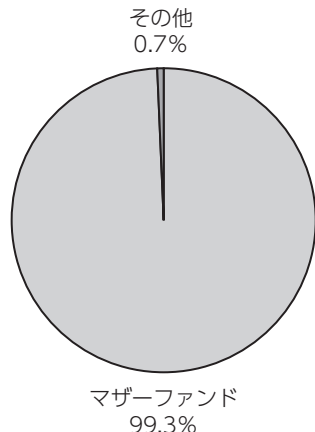
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

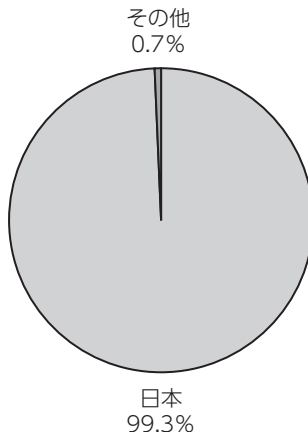
組入ファンド等

	比率
ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	27.6%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	16.7
ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド	16.5
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	16.5
ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	16.4
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	5.6
その他	0.7

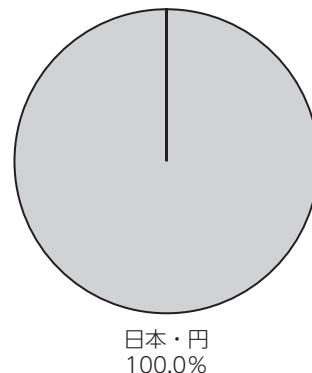
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年8月20日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2024年8月20日
純資産総額	34,804,337円
受益権総口数	22,006,104口
1万口当り基準価額	15,816円

* 当期中における追加設定元本額は1,018,154円、同解約元本額は738,500円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

- ◆**ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド**（作成対象期間 2024年1月6日～2024年7月5日）

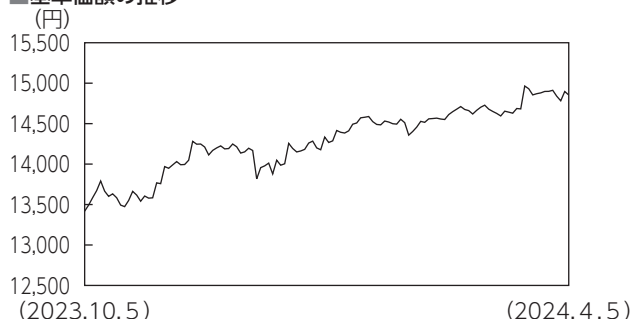
14ページをご参照ください。

- ◆**ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド**（作成対象期間 2023年10月17日～2024年4月15日）

15ページをご参照ください。

◆ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド (作成対象期間 2023年10月6日～2024年4月5日)

■基準価額の推移



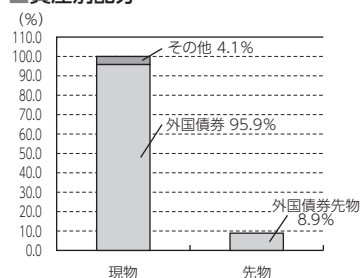
■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料 (先物・オプション)		0円 (0)
有価証券取引税		-
その他費用 (保管費用) (その他)		2 (2) (0)
合	計	2

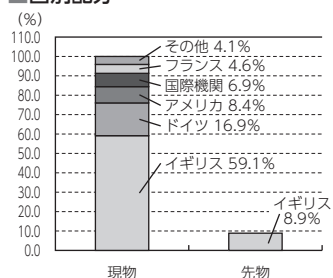
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
United Kingdom Gilt 4.25% 2027/12/7	イギリス・ポンド	21.5%
United Kingdom Gilt 0.875% 2029/10/22	イギリス・ポンド	21.1
KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU 1.375% 2024/12/9	イギリス・ポンド	10.4
LONG GILT JUN 24 買	イギリス・ポンド	8.9
United Kingdom Gilt 4.25% 2032/6/7	イギリス・ポンド	8.6
NESTLE HOLDINGS INC. 0.625% 2025/12/18	イギリス・ポンド	8.4
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK 1.25% 2025/12/15	イギリス・ポンド	6.9
KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU 5.5% 2025/6/18	イギリス・ポンド	6.5
United Kingdom Gilt 0.375% 2030/10/22	イギリス・ポンド	5.9
BANQUE FEDERATIVE DU CREDIT MUTUEL SA 5.375% 2028/5/25	イギリス・ポンド	4.6
組入銘柄数	11銘柄 (先物含む)	

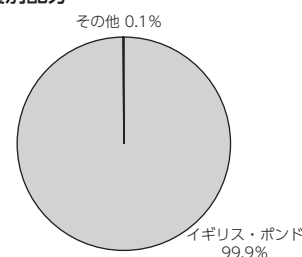
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。